

「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針（案）」に係る
住民説明会（7/8～9） 結果概要（主なご意見など）

	主なご意見など
<p>相模湖地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の診療所へ通院には、体の負担、移動費用の負担などがあり、受診しなくなる人も出るなど、統合はデメリットの方が大きいと考える。また、診療所は地元において役割を果たすので、経費節減ばかり考えず、住民のことを考えてほしい。 ・緊急時に対応できるよう、診療所が必要と考える。 ・子どもころから千木良に住んでいる。保育園や農協など色々無くなっており、診療所まで無くなると何もなくなってしまふ。 ・移住にも取り組んでいるが、何も無い地域に移住者が来るか疑問である。 ・車両を活用した訪問型オンライン診療などを検討しているが、こうしたものを先にしっかり整えてから、再編をするべきである。 ・千木良診療所は、青根のように週に何回でも開く形で維持してほしい。診療所で残せなくとも、薬局での活用など検討いただきたい。 ・人口が減って施設等を廃止するのではなく、人口増に取り組んでほしい。 ・住民と一緒に進めるという部分が欠けていると思う。
<p>津久井地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対面での診療は大事と考える。1診療所に医師2名体制は良いと考えるので、診療所を維持しつつ医師2名体制にしてほしい。 ・診療所の再編をあと3年で進めると一方的に市で決めたと考えている。市長が対話を歓迎しているが、再編する案を撤回してから住民の意見を聴く必要があると考える。まだ案の段階なら可能だと思う。 ・遠い診療所に医師が2人いるのと、近くに医師が1人いるのは、どちらが安心であるか、事態の切実さを受け止めてほしい。 ・消えゆく地域に引っ越したい人がどの位いるか。データで示してほしい。 ・青根診療所について、週1回でも診療ができており感謝する。できれば平日も1日でも診療できるとありがたい。 ・道志村からの受診者もいる、広域連携の検討も必要。 ・青根の当面維持は、いつかは無くなる意味。学校・農協が無くなり、辛うじて郵便局がある。希望を持って住めるかというところを考慮してほしい。
<p>藤野地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の説明会やパブコメで質問し、小児の夜間休日救急について「検討します」と回答をいただいた。再編を待たずにぜひ進めてほしい。 ・訪問診療は開始してから変更することは難しいので、よく検討してから始めてほしい。また、検討内容が見えるようにしてほしい。 ・列席者は役職のみでなく、名前も書いてほしい。 ・藤野診療所は、狭く、駐車場も少ない。内郷には検査機器などある。別の場所に設けるとか、検査機能の充実などを検討してほしい。 ・オンライン診療に興味がある。ICTの活用など近隣自治体（上野原市）と連携しながらぜひ検討を進めてほしい。 ・津久井地域は取り残されているという意識がある。 ・神奈中バスの運転士不足などの課題もある。医師の確保にも努めてほしい。 ・若い世代（次の世代）が安心して子供を生めることが大切。山下医院の施設や総合事務所の活用など真剣に考えて欲しい。